

九電杯軟式野球大会

4月4、5日に第33回九電杯軟式野球大会が甲佐町の白旗グラウンドで行われました。上益城郡内の中学校野球部7チームが熊本県大会出場を目指し熱戦を繰り広げました。矢部中学校野球部は日頃の練習の成果もあり、見事20年ぶりの優勝を果たしました。部員をはじめ、関係者、保護者一同喜んでおり、さらに5月に行われる熊本県大会に向け一丸となって頑張っています。



山都町商工会女性部 浜美荘訪問

3月30日、商工会女性部が浜美荘を訪問されました。商工会女性部の皆さんは、浜美荘に入所されている方のために毎年訪問され、贈り物をされています。

今年は、タオルと清美オレンジを入所者にプレゼントされました。

早速おやつに出された清美オレンジに、入所者のみなさん「おいかあ」と大変喜んでおられました。



木製おもちゃを保育園へ

3月2日、浜町乳児保育園に木製のおもちゃが送られました。これは、町内の子ども達とその保護者へ木のぬくもりに親しみを持ってもらい、木の文化や環境の保全に森林が大事だということを知ってもらうため、上益城地域木材需要拡大推進協議会が、毎年行っているものです。おもちゃを貰った子どもたちは大喜びで、思い思いに積み木などをして木のぬくもりを肌で感じていました。



緑の募金事業 ヤマモミジ植樹

3月5日、緑の募金事業で緑川のフィッシングパークキャンプ場内にヤマモミジ30本が植樹されました。

これは、毎年3月から5月の時期に各世帯にご協力いただいている緑の羽根募金運動で集まった募金額に応じて、上益城地域みどり推進協議会が地域の緑化運動に対して助成を行うもので、山都町南部地域振興協議会により植樹されました。ヤマモミジが、12名ほどで1本1本丁寧に植樹され、それぞれのモミジに植樹者のネームプレートも付けられました。1時間ほどかけて植え付けられた場内を満足そうな様子で、紅葉の時期には沢山のお客様に提供できたいと語られました。



町内の小学校で入学式

4月9日に町内の各小学校で入学式が開催されました。矢部小学校では新入生41名が在校生に拍手で迎えられました。

今年度の1年生はクラスが2クラスあり、1組の担任の飯星先生、2組の後藤先生の点呼に「はい!」と元気な声で返事をしていました。また、在校生が大きな声で歌う校歌斉唱には初めて耳にする学び舎の校歌に少し緊張した様子を見せる新入生。

式典後に教育長から「黄色い帽子」を、交通安全協会会長から「笛付き傘」を贈呈された2名の新入生は嬉しそうな笑みを浮かべていました。



新入生に記念品が贈られました。

馬見原東部老人会 お花見

4月23日に宮崎県との県境に位置する岩尾野地区で馬見原東部老人会による花見が開催されました。毎年4月の下旬ごろに開催されているそうで、今年度は17名が参加されました。

4月下旬という花見の時期が終わっているのではと思いつきながら行ってみると、白やピンク色のまるでボンボンのような花が開いていました。馬見原東部老人会の方にこの桜は何ですか?とお訪ねすると「こん花はちょうちん桜ていうとばい!」と教えていただきました。ちょうちん桜を見ながら女性方が作られた様々なたけのこ料理等に舌鼓されていました。



間伐・森林作業道整備 講習会

4月14日、緑川流域林業・建設業連携協議会構成員の建設業者の代表者が集まり、森林組合の指導員によるチェーンソーを使つての間伐やバックホー等による森林作業道の整備などの講習会が開かれました。

これは緑川林業・建設業連携協議会が主体となり行われたもので、林業と建設業等関係者との連携を図り、林業担い手の雇用確保に努めるため、地域経済の活性化を図ることを目的として作られた組織です。

今回は、3班に分かれて、適正で安全な間伐・搬出の方法や、森林作業道の整備の方法など、指導員が実際に機械を使いながら、現場で指導を行いました。林業は危険と隣り合わせの作業であり、高い安全性が求められます。参加者は、緊張感を持って、一つ一つの作業を熱心に聞き入っていました。



田小野の卒業生を祝う会

3月14日、今年中学、高校を卒業する田小野地区の生徒の「卒業を祝う会」が田小野コミュニティーセンターで開催されました。

毎年、開催されている当地区での卒業生を祝う会も今年で15回目。

今年は中学・高校あわせて5人が卒業を迎えました。当日は、卒業生へ記念品の贈呈や、卒業生が今後頑張っていきたいことなどを皆に報告し、当地区の皆に祝福されました。今年も、5人全員が進学することが決まっています。



今年の卒業生と保護者のみなさん